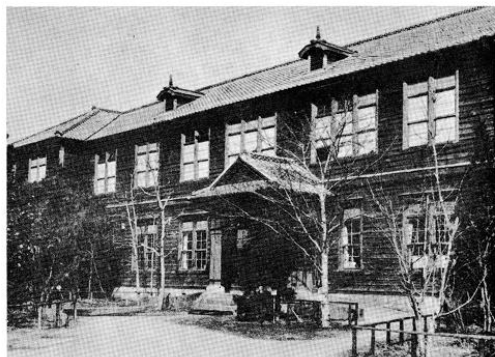




静中静高同窓会関東支部

会 報 (創刊号)



大正五年五月創刊
静中静高校歌

作詞 吉丸一昌
作曲 島崎 赤太郎

一、昏南健児一千の

理想は高し富士の山
八面玲瓏白雪の

清きは我等の心なり
二、至誠を色に表はせる

唐紅の旗幟
義勇奉公四つの文字

三、龍爪山の木枯しに
掲げて共に進むべし

吉葉が開の夏の日に
身心鍛ふ大丈夫

文武の道を励めいざ
四、御国の柱礎と

なりし祖先の後継ぎて
大現神天皇の
稜威を四方に輝かせ

関東同窓会報を紐解く

2025.7.5

静中・静高関東同窓会

調査・編集：幹事期（102期）

データ総数
1,797件

同窓会報を紐解く

昭和51年（1976）：第1号 ～ 令和7年（2025）：第99号

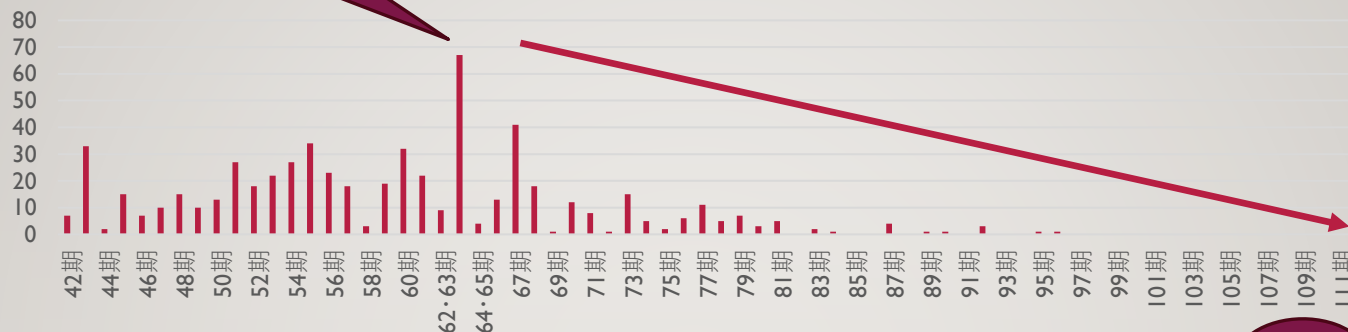
※投稿記事を「同期」「挨拶」「個人」「静岡たより」「記事」等に分類しながら
投稿者・投稿者卒業年次（期）のデータベース化を試み、分析を実施



同期情報の 投稿分析

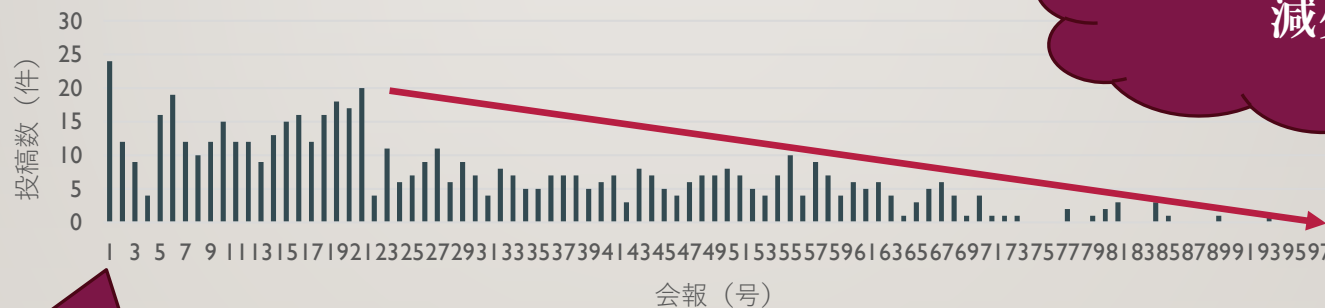
他を圧倒する64期!

「同期情報」 期別投稿件数



同期情報は
減少傾向

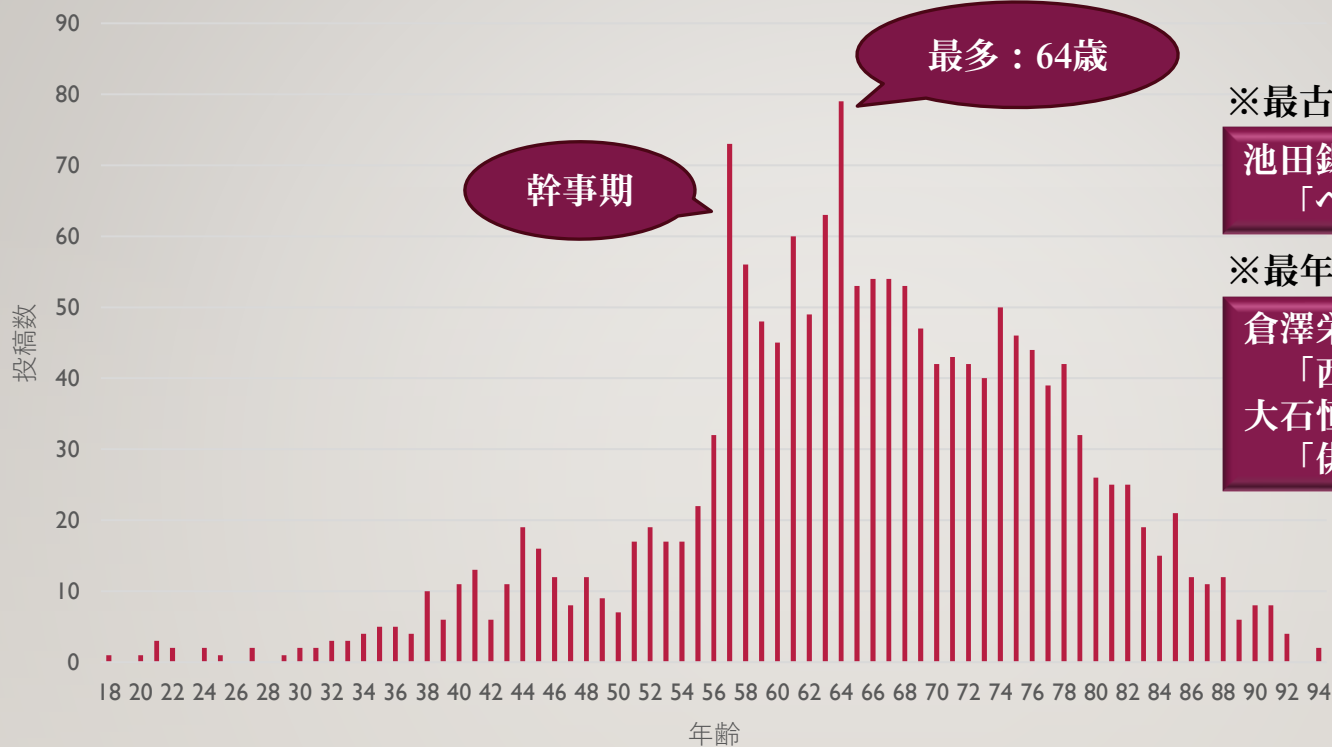
会報・同期情報の投稿数



24学年(42~76期)が
一斉に投稿!

年齢別 投稿分析

みなし年齢別投稿数



※最古投稿期

池田錫氏（23期）
「ベレ帽のすすめ」（2号）

※最年長投稿者（94歳・2名）

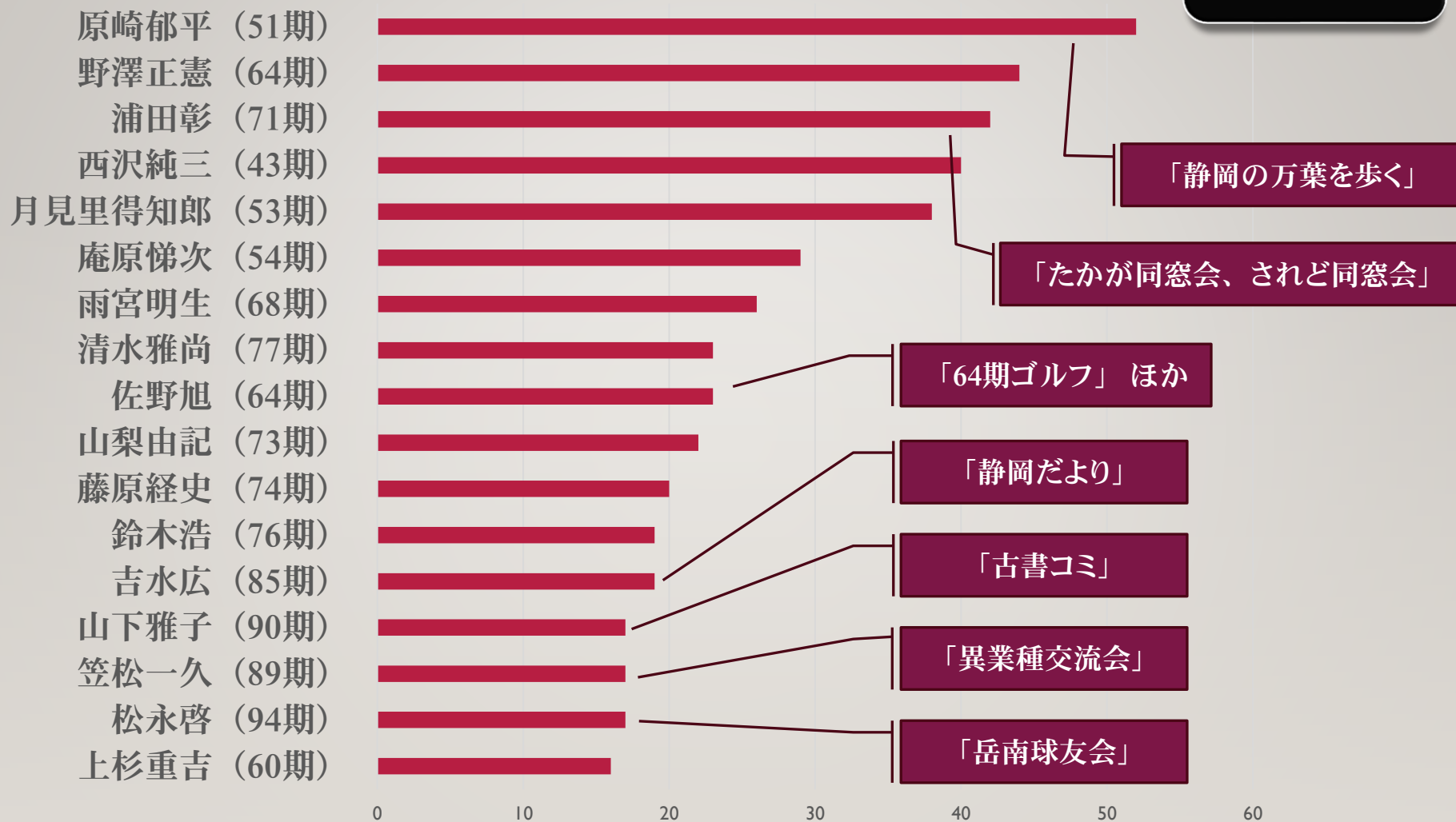
倉澤栄吉氏（43期）
「西沢君を偲ぶ」（54号）
大石恒夫氏（61期）
「俳句に憑かれて」（89号）

※最新投稿期

渡辺俊介氏（137期）「ありふれた日々に輝くもの」（90号）ほか

個人別 投稿分析

個人別会報投稿数



【同一テーマ・同一シリーズ投稿（事前告知・案内を除く）】

投稿回数	氏名	会報	投稿時年齢	タイトル
37回	原崎郁平（51期）	30～66号	74～92歳	静岡の万葉を歩く（1）～（37）
29回	浦田彰（71期）	70～99号	74～89歳	たかが同窓会、されど同窓会（1）～（29）
23回	佐野旭（64期）	46～83号	69～88歳	「私のゴルフ」あれや・これや ほか
17回	松永啓（94期）	83～99号	58～66歳	岳南球友会・静岡高校野球部情報
9回	月見里得知郎（53期）	12～23号	61～64歳	謎解きの随想 40回野崎操一氏の著書「心の軌跡」から
6回	山梨由記（73期）	52～81号	63～78歳	パソコン奮戦記 ほか
5回	月見里得知郎（53期）	7～11号	61～63歳	イルカと人間（1）～（5・完）
4回	鼠入武夫（52期）	5～8号	61～62歳	アラビアの地に十五年を過して＜1＞～＜4・完＞

個人投稿の
金字塔

継続中!

継続中!

【「静岡の万葉を歩く」で紹介された万葉歌碑】

原崎郁平氏
(51期)

会報	年度	年齢	歌	作者	万葉歌碑の所在地
1	30	1990	74 しろがねも くが		駿府城
2	31	1991	75 焼津べに わが行		西草深公園
3	32	1991	75 さわたりの 手児		丸子1丁目
4	33	1992	76 坂越えて 安倍の		長田南中学校
5	34	1992	76 水鳥の 発ちの急		日本平
6	35	1993	77 父母が 頭かき撫		清水第三中
7	36	1993	77 庵原 (いははら)		清見湯公園
8	37	1994	78 磐城山 (いわきや)		清水市東部老人いこいの家
9	38	1994	78 たちばなの みお		清水市小島町立花の撰果場
10	39	1995	79 天の原 富士の柴		広見公園 (富士市伝法)
11	40	1995	79 田子の浦ゆ うち		富士見公園 (富士市前田新田) ほか
12	41	1996	80 冬ごもり 春さき		桑寿園
13	42	1996	80 春の野に すみれ		万葉の小径 (伊東市鎌田)
13	42	1996	80 朝露に 咲きすさ		万葉の小径 (伊東市鎌田)
13	42	1996	80 路の辺の 老師の		万葉の小径 (伊東市鎌田)
13	42	1996	80 手に取れば 袖さ		万葉の小径 (伊東市鎌田)
13	42	1996	80 この雪の けのこ		万葉の小径 (伊東市鎌田)
13	42	1996	80 夏葛の 絶えぬ使		万葉の小径 (伊東市鎌田)
14	43	1997	81 たちばなの みお		清水駅前広場
15	44	1997	81 いははらの 浄見		三保の松原
16	45	1998	82 風早の 三保の浦		三保の松原
17	46	1998	82 東路 (あづまち)		丸子金属工業団地
18	47	1999	83 焼津邊 (やきつべ		花沢の里 (焼津市)
19	48	1999	83 志太の浦を 朝漕		金比羅神社公園 (藤枝市志太)
20	49	2000	84 遠江 白羽の磯と		白羽海岸 (旧御前崎町)
21	50	2000	84 父母も 花にもが		掛川西高校
22	51	2001	85 時時の 花は咲け		袋井中学校
22	51	2001	85 遠江 白羽の磯と		袋井中学校
23	52	2001	85 浅羽の野良に 刈		浅羽図書館 (袋井市)
24	53	2002	86 九月 (ながつき)		今之浦公園 (磐田市)
24	53	2002	86 大之浦の その長		今之浦公園 (磐田市)
25	54	2002	86 遠江 志留波 (し		なぎのき会館 (磐田市)
26	55	2003	87 引馬野に 匂う榛		浜松市立文芸館
27	56	2003	87 引馬野に 匂う榛		真淵翁顕彰碑広場 (浜松市)
28	57	2004	88 伎倍人 (きへい)		万葉の森公園 (旧浜北市)
29	58	2004	88 わが妻は ひたく		万葉の森公園 (旧浜北市)
30	59	2005	89 磯の上に 生 (お		万葉の森公園 (旧浜北市)
31	60	2005	89 わが妻は ひたく		八幡神社 (旧浜北市)
32	61	2006	90 あらたまの 寸戸		鷹玉公民館 (旧浜北市)
33	62	2006	90 あらたまの 伎倍		浜北文化センター
34	63	2007	91 花散らふ この向		浅間山 (旧三ヶ日町)
35	64	2007	91 遠江 白羽の磯と		三ヶ日中学校
35	64	2007	91 花散らふ この向		三ヶ日中学校
36	65	2008	92 あられふり 遠江 (とおつあふみ) の 吾跡川 楊 (あどがわ		小森橋南詰土手南 (旧天竜市)
37	66	2008	92 遠江 (とほつあふみ) の 引佐細江 (いなさ ほそえ) の 漂櫻 (みをつくし) 吾 (あれ) を 頼 (たの) めて あさましものを		細江公園 (旧細江町)



静岡の万葉を歩く
(三十一)
51期 原崎 郁平

浜北市宮口三一九一 八幡
神社境内に次の万葉歌碑が立っ
ている。
わが妻は いたく恋ひらし
飲む水に
影さえ見えて
世に忘れられず

平成二年八月三十日建立
建立者 浜北市教育委員会
揮毫者 犬養孝 (国文学者)
寸法は高さ百五十センチ、
幅二百三十センチの自然石に
縦六十センチ、横七十五センチ
の黒御影石が嵌め込まれ本文が
刻んである。



歌碑の所在地は
天竜浜名湖鉄道、
宮口駅の南西徒歩
三分の所にある。
歌碑の裏に次の
文章が刻んである。
「万葉集の巻二十
には、大伴持が
難波津に集結した
東国の防人から集
めた歌が収録され
ている。この中に
鹿玉郎 (あらたま)
の若後部身麻呂の
歌がある。『私の
妻は、ひどく私を
恋慕しているら
しい。飲む水に妻の面影さえ映っ
てきてどうしても忘れることが
できない』との大意であり、今
から千二百年前、この地に住ん
でいた身麻呂が兵士として九州
へおもむく折の、ひたすら妻を
思う歌である。平成二年八月建
立 浜北市・浜北市教育委員会
万葉歌揮毫者 大阪大学名誉
教授 犬養孝」

☆静岡・静岡関東同窓会は会
員の拠出金で運営しており
ます。
一年間30000円です。
よろしくご協力ください。

最終投稿
66号 (2008年・92歳)

2009.5.11ご逝去 (会報第67号より)

江の島会

気楽で何という事もなく楽しい

天下の「江の島会」

村松 直(42回)

2011



54回江ノ島会総会 平成13年9月2日

2022



第75回 静中・静高「江の島会」
2022/9/25 於:江の島・恵比寿屋

2004



静中・静高同窓会 第57回江の島会総会 平成16年9月

1977



江の島会 静高同窓会

1987



1997



関東同窓会を超える
70年以上の歴史を誇る

卒業26年目の会

卒業18年目の会

(7)

静中静高同窓会会報

2024年5月25日 第97号

集まれば、みんな楽しい！
卒業後イベント報告

卒業18年目の会

121期 田村 俊和

「卒業18年目の会」を10月15日(日)に東京・大手町「KALEN CAFE」で開催しました。当初は「卒業15年目の会」として計画していましたが、コロナの影響がなかなか開催できず、卒業した時の年齢の倍の年齢である36歳になりました。ようやく集まることができました。



日曜の正午、和やかにスタート。



ラグビー部顧問の村上勇先生を囲んで楽しいひと時。

30代後半は、仕事に子育てで何かと忙しい世代ではありますが

が、121期42名、お子様3名、先生2名(河内俊之先生、村上勇先生)、同窓OB・OG4名、計51名が参加し、大盛況となりました。笑顔を素敵なお子さんたち、終始ニコニコで会場を和やかな空気にしてくれました。村上先生は教え子の結婚式前に駆けつけてくれました。



ネットアプリを使ったビンゴ大会の景品は、総計27点！

ビンゴ大会では、当日参加できなかった同期も含め所属する会社に関する景品が数々と集まり、大変豪華なビンゴ大会になったとともに、静高OB・OGが多岐にわたる企業に勤めているのだと改めて感じました。デイズバーのペアチケットまで提供いただけると思いませんでした。



河内伸之先生(英語)は懐かしい字跡を拝見され、エピソードを披露してくださいました。

など当時の話はもちろん、仕事や家庭、子育てなど最近の話でも盛り上がり、2時間では足りないほど。大勢の方が2次会、3次会へと繰り出し、終盤くまで楽しんでいた人も多かったようです。私も楽しみのあまり相当酔うまで飲みました。



月日が経っても変わらずぬるぬる感で語も尽きず。



2次会、3次会へ。その後も同窓の輪が広がっています。

当初はどれほどの人が集まるのか不安もありましたが、結果的には多くの方が集まり、また、120名以上の「プログラブ」ができ、そこで「年末に静岡で集まろう」と声掛けがあるなど、次に繋がる会にできたことを大変喜ばしく感じています。西新宿のバーで店長を務める遠藤忠介君のバーテ



「OLD VALLEY」(新宿区西新宿1-15-9石井ビル8F)は新宿駅西口から徒歩4分。朝まで営業しています。



静高のみんな、ありがとう！

★遠藤君の作るカクテルは絶品
雲間気後服のバーです。ぜひ皆さん覚えてみてください。

卒業26年目の会

113期 関 匡史

10月7日(土)に、東京・品川にて113期(25年3月卒業生)の同期会を開催しました。当時9クラスで350人ほどが在籍していましたが、その内54名に参加していただきました。



会場は静岡からのアクセスもよい品川「Patio」



土曜の夜から乾杯。みな顔に夢中で食事は後回し。

113期は、成人式のタイミングで「卒6の会」として集合して以来、部活やクラス単位での飲み会は一部で継続されましたが、学年全体で集合する機会はなく、コロナ蔓延と共にその開催も叶わぬ状態が続いていま

コロナが収束しかけた頃、関東同窓会の理事の方から「113期は、卒業25年の会を開催しないの？」と聞かれたことがきっかけで、2023年11月に東京で勤務している同期生6名がとりあえず集まることから始まりました。卒業アルバムを持参し集まったので、皆でアルバムを見ながら当時の思い出を語り、各人の仕事や私生活での近況を話していくうちに、今回の同期会を本格的に企画してみようという話が、1年後の2023年10月7日に同期会開催を仮決定しました。40代中盤ともなると意思決定が早いなど、感心したことを覚えています。



同期会企画は1年前からスタート

高校卒業時にはSNSがなかった私たちが、Facebook、LINE等、それぞれが持っている情報をも活用し、参加者を募りました。想定以上の反響が寄せられ、開催場所が静岡であればもうという方が参加したであろうという手応えを感じました。



それぞれの近況に花が咲きます。



25年経ってもすぐにJKトークに。



急きよ30人が入る二次会の居酒屋が見つかった！

同期会当日、それぞれのワールドで頑張っている同級生との再会は、卒業からの25年という時間を忘れるほど、すぐに在校当時の様に会話が始まり、先



「次は静岡で集まりたいわ」とこの日は一旦解散。今後は楽しみです。

各種行事

静高静中関東同窓会

「異業種交流会」発足

副会長 垣生 尚敬 (78期)



異業種交流会 (2019年1月25日)

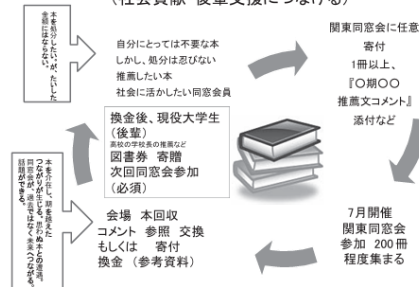
異業種交流会 (2011年～)

古書コミ (2014年～)

ゴルフ会
ハイキング
麻雀大会
富士登山
幹事会 (新春のつどい)
...



古書コミ(古書コミュニケーション)
本を媒体として同窓会を活性化・若年者の参加促進
(社会貢献・後輩支援につなげる)



古書コミポスター



古書コミ風景 (各期幹事会)



古本を持ち寄り輪を広げよう
〈古書コミ〉7月総会からスタート

関東同窓会役員会

「総会50年の歴史」は、
後ほど上映されるスライドショーをご覧ください。

年齢別 投稿分析

みなし年齢別投稿数



※最古投稿期

池田錫氏 (23期)
「ベレ帽のすすめ」 (36号)

※最年長投稿者 (94歳・2名)

倉澤栄吉氏 (43期)
「西沢君を偲ぶ」 (54号)
大石恒夫氏 (61期)
「俳句に憑かれて」 (89号)

※最新投稿期

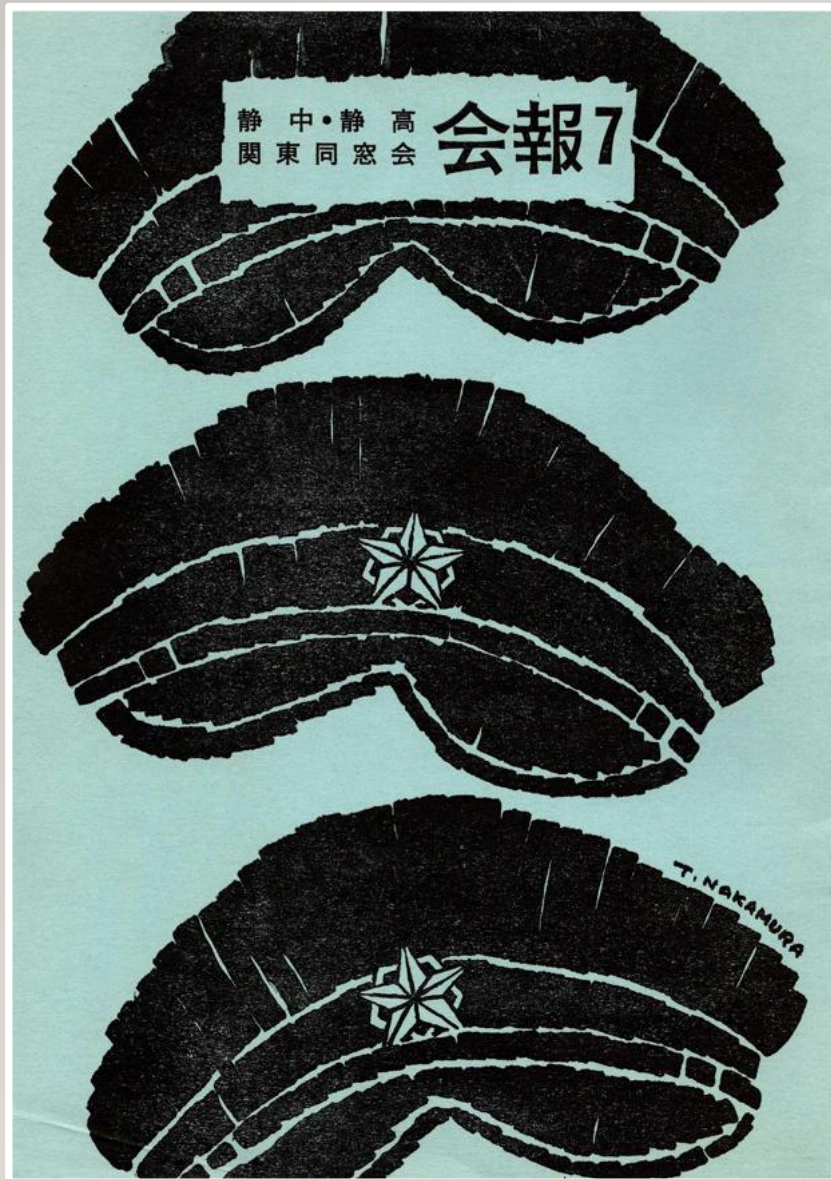
渡辺俊介氏 (137期) 「ありふれた日々に輝くもの」 (90号) ほか

表紙

会報9号 編集後記（一部）

今回の会報9号は前号同様新聞形式の各期だより中心で計画しました所、始めて見ますと各期からのお便りがどうも少い。反面御覧の様な立派な原稿を沢山頂きました。特に芹沢氏(43)からは、表紙無しの形としたのは台所の事情だろうとのお心遣いで多額の御寄附まで頂き委員一同大感激でした。それやこれや考へ合はせ、相談の結果、今回は元の表紙付スタイルとなりました。

創刊号：表紙なし
2～7号：表紙あり
8号：表紙なし
9号：表紙あり
10号～：表紙なし



これからの関東同窓会報

- 「静高」「関東」をキーワードとする情報共有・交流のツールとして
- 世代を超えたメッセージを伝え残すツールとして

関東同窓会報が
存在する意義を
見つめ直したい

次の50年へ



ご清聴、ありがとうございました。